

## 上関地点 2019年度 下半期の環境監視調査結果について

水質調査の結果は、管理目標値を満足していた。

陸生、海生生物については、過去の調査結果と比較して顕著な変化は見られなかった。

項目		調査時期	調査結果概要			
水質	陸域工事排水の水質	10月 1日 11月 6日 12月 3日 1月 8日 2月 5日 3月10日	水素イオン濃度、浮遊物質ともに管理目標値内であった。			
			項目	調査結果	管理目標値	
			水素イオン濃度	6.8~7.2	5.0以上9.0以下	
			浮遊物質 (日平均値)	8mg/L 以下	150mg/L 以下	
陸生生物	ハヤブサ	2月26日 3月17, 27日	鼻線島において、親鳥による抱卵行動を確認した。 なお、各月で雄、雌の親鳥を確認した。			写真1
海生生物	潮間帯生物	10月24, 25日	植物ではヒジキ、イワノカワ科など26種、動物ではイボニシ、クロフジツボなど39種を確認した。			写真2
	海藻草類		ノコギリモク、サビ亜科など27種を確認した。			
	底生生物		サザエ、ムラサキウニなど6種を確認した。			
	スナメリ	10月, 3月 (週1回・計8日)	確認回数は計10回、延べ30頭を確認した。			
	カクメイ科等の貝類	11月25日 12月11日 2月19~20日	カクメイ科の貝類は確認されなかった。 タイドプール※2箇所のうち1箇所は、岩盤の崩落があり、引き続き崩落の恐れがあるため、1箇所ですべて調査を実施した。			

※ タイドプール:干潮時に海辺の岩場にできる潮だまり

### 【参考】

#### 《環境監視調査計画以外の環境調査》

##### ○カンムリウミスズメ(写真3)

1月に延べ15個体(長島の北, 祝島の南東, 天田島の南東), 2月に延べ4個体(祝島の南東, 天田島の南), 3月に延べ3個体(長島の北)を確認した。

##### ○カラスバト(写真4)

計画地点において、姿および鳴き声の確認はなかった。

なお、鼻線島においては、10, 11, 2, 3月に姿および鳴き声を確認した。

【調査写真】

写真1:ハヤブサ



(2月26日 親鳥雄)



(2月26日 巣に留まる親鳥雌)

写真2:海生生物(10月24, 25日)



ヒジキ



イボニシ



ノギリモク



サザエ

写真3:カンムリウミスズメ



(2月6日 天田島の南)

写真4:カラスバト



(10月29日 鼻線島)